

公 表 日

平成28年 7月 8日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	平成28年度鶴田ダム再開発減勢工岩盤地質検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 川内川河川事務所長 坂元 浩二 薩摩川内市東大小路町20番2号
契約年月日	平成28年 7月 8日
契約業者名	(株)建設技術研究所
契約業者の住所	福岡県福岡市中央区大名2-4-12
契約金額	55,404,000円(税込み)
予定価格	55,490,400円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり (※随意契約理由書を添付すること。)
業務場所	鹿児島県薩摩郡さつま町
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	平成28年 7月 9日
履行期間(至)	平成29年 3月24日
備考	入札情報サービス(PPI) (http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約課程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 平成 28 年度鶴田ダム再開発減勢工岩盤地質検討業務
2. 履行場所 鹿児島県薩摩郡さつま町
3. 契約の相手方 住 所：福岡県福岡市中央区大名 2-4-12 (CTI 福岡ビル)
会社名：株式会社建設技術研究所九州支社
電 話：(092)714-2211
4. 契約適用法令：会計法第 29 条の 3 第 4 項及び
予算決算及び会計令第 102 条の 4 第三号
5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

- 1) 当該業務の目的

本業務は既設減勢工部で施工中であるマットコンクリート基礎および減勢工基礎対象岩盤のスケッチを行い、構造物基礎としての妥当性確認等を行う。また、スケッチなどの資料をもとに既設減勢工周辺の地質解析を行うことを目的とする。

- 2) 業務の内容

事前準備及び検査補助 1 式、準備作業 1 式、観測データの整理 1 式、減勢工部岩盤スケッチ 1 式、マットコンクリート部岩盤スケッチ 1 式、岩盤検査資料の作成 1 式、岩盤スケッチ箇所の解析 1 式、左岸河床部洗掘箇所の検討 1 式、断層の性状確認 1 式、マットコンクリート部の地質図作成 1 式、既設減勢工部のスケッチ図編纂 1 式、関係機関協議資料作成 1 式、報告書作成 1 式

- 3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低 20 者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を 18 者が入手（ダウンロード）し、1 者から参加表明書が提出され、1 者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち 1 者を技術提案書の提出者として選定し、1 者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断された。

特に「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「業務理解度」、「実施フロー」において目的、条件、内容の理解度が高く、実施フローの工夫がなされ優れていた。また、特定テーマの「鶴田ダムにおける断層の性状確認する上での岩盤スケッチ、岩盤評価の留意点について」に対する技術提案について、余条件との整合性が高く、着眼点、問題点、解決方法等が的確に整理され、提案内容にも説得力があり、最も優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第 29 条の 3 第 4 項及び予算決算及び会計令第 102 条の 4 第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

川内川河川事務所 工事課長